『第 15 回北陸ブロック研修会 in 富山』に参加して
（発表・シンポジウム・閉会式の報告）

報告者：ケアスタジオ介護相談所　島崎　新一

『第 15 回北陸ブロック研修会 in 富山』の午後の部（第 2 部）は大会テーマである『介護支援専門員と多職種連携の未来～災害時に備えるケアマネジメント提供体制～』に即して北陸 3 県の皆さんにて災害に関わってのケアマネジメント、情報共有や BCP の在り方等や活動実践報告の発表がおこなわれました。

福井県からは福井赤十字病院居宅介護支援事業所 山崎奈満氏、地域密着型通所介護 いちごライフ 山岸麻野氏、石川県からはケアマネステーション恵寿 清水光代氏、オレンジケア 2 号店 山本治美氏、富山県からは万葉苑居宅介護支援事業所 松谷三和氏、南砺市地域包括支援センター 竹内嘉伸氏の 6 名の方々の発表を聴講させていただきました。

令和 6 年 1 月 1 日に生じた『能登半島地震』から未だ 2 年足らずの経過にて皆さんの記憶も鮮明にある中であり、発表者の皆さんもこの度は実体験された内容の発表や今後への提言であり、ケアマネジャーとして今後の災害の被災前にどのような備えが必要であるのか。また、被災により生じた課題にどのように向き合い対処すれば良いのか改めて認識させていただきました。また、未だ復興半ばの地域も多くありますが、今後の為にもこの度の震災で起きた出来事などは風化させないことも大事であると思いました。

発表に引き続き発表者 6 名と座長に日本介護支援専門員協会常任理事 山田剛氏、コメンテーターに石川県介護支援専門員協会副会長 水上直彦氏に登壇いただき『災害時に備えるケアマネジメント提供体制』とのテーマにてシンポジウムが開かれ、被災時における課題や今後の対処に向けて活発な意見が交わされました

閉会式では、次回の同大会の開催予定地である福井県の福井県介護支援専門員協会会長 貴志英生氏から閉会の挨拶をいただき無事に大会を終えることができました。

余談となりますが、閉会式に先立ち会場参加の皆さんだけの限定の余興として『じゃんけん大会』の催しもありました。商品は今秋獲れたての『富山県産の新米』が用意してあり、会場参加の皆さんは、この日一番の盛り上がりとなり白熱した催し物となりました。

この度は大会実行委員の皆さんは多忙な業務の側での大会の準備と当日の運営お疲れ様でした。

次回は福井県での開催予定となりますが、1 年後に福井県にて皆さんと笑顔で再会できることを楽しみに心待ちとしたいと思います。